

所属・資格 教育学科・教授

申請者氏名 杉森 知也

研究課題		戦前期中等教員の臨時的養成に関する基礎的研究—採用難の起因—
報告の概要	研究目的 および 研究概要	戦前期の中等教員養成において、大きな課題の一つとなっていたのは採用(就職)難の時期が何度も生じたことであった。本研究は、この起因となったものは何かを研究することを目的とした。特に、三度生じた大きな採用難の時期を研究することを意識して進めた。
	研究の 結果	それぞれの採用難の時期の起因を調査してきたが、多様で最後まで調査が進められず十分にはまとめ切れなかった。これは後の研究に譲りたい。そこで、これまでに調査・研究を同時並行で進めてきた戦前の中等教員の資質向上策について研究を変更してまとめることにした。 初等教員養成は多様な講習(会)が存在し、長く師範学校の中にも教員講習科が設置されるなど短期の講習によって教員免許を取得できるルートが残されてきた。一方、中等教員については需要が増加しても講習による免許取得は認められなかった。高い専門性が求められた中等教員は講習という短期養成はたとえ教員不足であっても認めないという強い方針があったことが判明した。
	研究の 考察・ 反省	中等教員の講習は、初等教員の講習よりも早くから文部省主催で実施されてきた。当初は中等教員需要はさほどなかった一方、中等教育を担うに必要な学力が担保されていなかったことからそうした仕組みが採られてきたとみられるが、教員不足にあっても講習による短期養成は認めなかった。かわりに短期の公的養成である臨時教員養成所を創設したことは、初等教員養成と中等教員との、数的充足と質的担保のとりかたに大きな違いがあったことを新たに見出すことができた。 しかし、当初の研究テーマがまとめ切れなかったもので、それは継続して研究を進めてまとめたい。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	◎論文 杉森知也「戦前における中等教員の資質向上策に関する一考察—師範学校中学校高等女学校教員講習会を中心に—」 (日本大学文理学部教育学科『Society5.0 に対応する学校教育に関する基礎的研究—日本大学文理学部人文科学研究所共同研究(第五次報告書)—』、2023年3月発行予定、ページ数未確定、入稿済、掲載確定)。	
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	◎図書紹介 杉森知也「船寄俊雄、近現代日本教員史研究会編著『近現代日本教員史研究』(日本教育学会『教育学研究』第89巻第4号、pp.756-757、2022年12月31日)。	